＜ニュース＞　　2017 年 1 月 23 日

# 大学ゴルフ授業で使用するクラブの安全チェックリスト

## （一社）日本ゴルフ用品協会の監修で作成

一般社団法人 大学ゴルフ授業研究会

大学ゴルフ授業研究会が「授業中に経験したことのあるヒヤリハット事例」を収集したところ、クラブを振ったときに手からすり抜けて飛んだ、クラブシャフトやヘッドが折れた、といったグリップやクラブの劣化が原因で起こる回答が多く寄せられた。それが原因で大けがをしたとの回答もあった。

このたび、（一社）大学ゴルフ授業研究会は、（一社）日本ゴルフ用品協会（JGGA）と共同で、『大学ゴルフ授業で使用するクラブの安全チェックリスト』を作成した。大学の実態と事例を踏まえ、ゴルフクラブの使用に際し、クラブヘッドやシャフト、グリップ、周囲などへの安全を確認するための詳細が記載されている。

このチェックリストの活用により、ボールを打つ前とボールを打っている時のチェック項目が明確になり、ゴルフ授業においてより安全に配慮した取り組みができると期待している。自校のおよび自身の授業の安全対策に役立てて頂き、廃棄・交換が必要な場合は、JGGA が大学体育授業向けに実施している『ゴルフクラブ無償提供』に是非申請頂きたい。送料の負担のみで希望のクラブを寄贈いただくことができる。（申込 URL：http://daitairen.or.jp/?p=8642）

チェックリストを含む詳細は、本研究会のオンラインジャーナル『ゴルフ教育研究 Vol.3 No.1』（pp.26-30）に掲載されている（橋口著：『ゴルフの安全チェックリスト』の作成について）ので、下記 URL を参照頂きたい。
（http://daigaku-golf.org/journal）

＜本件に関するお問い合わせ＞
大学ゴルフ授業研究会 世話人
橋口剛夫（帝京科学大学教授）
hasiguti@ntu.ac.jp